

項 目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-2
事業名	みどりの循環県民活動推進事業		
事業費	13,864 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

(1) みどりの循環県民活動の推進

植樹や間伐、木製品や木質バイオマスエネルギーの利用など「森を守り、育て、暮らしに活かす緑の循環システム」を体験できるメニューにより、森と暮らしのつながりを感じる取組みを年間を通して進めていく。

(2) やまがた緑環境税の普及啓発

やまがた緑環境税に関する普及啓発を実施する。

2 事業概要

(1) みどりの循環県民活動の推進

- ・「やまがた森の感謝祭2018」の開催（6/2 飯豊町 山形県源流の森）
- ・地区感謝祭の開催
村山 10/ 6 中山町立豊田小学校（中山町）
最上 11/17 いきいきランドぽんぽ館（戸沢村）
庄内 10/13～14 小真木原公園（鶴岡市）、10/27～28 国体記念体育館（酒田市）
- ・森のホームステイ事業
竹ポット苗づくり（5月～2月）
植樹 ・もくロックの森（南陽市）10/6 ・南陽・「草木」の森（南陽市）10/12
・しんきん結の森 ぐるっと花笠の森（新庄市）10/20
- ・間伐体験会及び森のエネルギー見学会（9/9、9/30）
- ・木エクラフト体験会（10/13～14、10/27～28）
- ・森づくりリレーの実施（6月～3月）

(2) やまがた緑環境税の普及啓発

- ・新聞広告、フリーペーパー広告によるPR
- ・モンテディオ山形、山形ワイヴァンズのマッチデープログラム広告掲載
- ・ラジオCMを活用したPR
- ・シンボルマーク入りコースター、やまがた緑環境税名称入りクリアファイル等の作成
- ・県広報媒体を活用した広報・周知（森林やまがた）
- ・山形県林業まつりでのPR（10/13～14）
- ・やまがた環境展2018でのPR（10/27～10/28）
- ・県内公共施設等や大型ショッピングモールでの展示・PR
- ・広報誌「もりしあ」の発行・配布（B5判 年2回、20,000部/回）

3 成果と課題

【成果】

- (1) 森と暮らしのつながりを感じる体験イベントに、多くの県民の方に参加していただき、森づくりの大切さを実感してもらえた。
- (2) 広報誌「もりしあ」を発行し、やまがた緑環境税の趣旨や活用事業をわかりやすく紹介することで、県民に対して広く普及啓発することができた。

【課題・対応】

市町村等と連携しながら各種イベント、広報媒体、パネル展、普及啓発物品の活用などを組み合わせて実施することで、やまがた緑環境税の周知を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年みどりの循環県民活動推進事業の取組み事例】

やまがた森の感謝祭と各地域の森の感謝祭



- | | | |
|-----------------------|------------|------------------|
| ▲やまがた森の感謝祭 2018 | 6月2日 | 山形県源流の森（飯豊町） |
| ▲村山地域森の感謝祭 | 10月6日 | 中山町立豊田小学校（中山町） |
| ▲最上地域森の感謝祭 | 11月17日 | いきいきランドぼんぼ館（戸沢村） |
| ▲庄内森とみどりのフェスティバル 2018 | 10月13日～14日 | 小真木原公園（鶴岡市） |
| | 10月27日～28日 | 国体記念体育館（酒田市） |

みどりの循環県民活動推進事業

森を守り・育てる



- ▲間伐体験会
9月9日、9月30日
飯豊町と米沢市で開催
・24名参加

暮らしに活かす



- ▲木質バ 休み発電施設見学
（長井市・米沢市）
・チップ加工工場とそれを燃料とした発電所を見学
・24名参加

- ▲木工クラフト体験
・林業まつり
（10月13日～14日）
・やまがた環境展
（10月27日～28日）
その他、森の感謝祭、
地域感謝祭などで実施

森のホームステイの実施



- ▲普及啓発
コースター等の作成・配布
▲普及啓発
広報誌「もりしあ」の発行

- ▲森のホームステイ
森で採取したドングリや稚樹を家庭や学校、職場などで2年間育ててもらい、再び森にかえす活動です。



森づくりリレー旗の交付



- ▲森づくりリレー
やまがた森の感謝祭 2018 をスタートに、
県内各地の森づくり活動をつないでいます。

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-3
----	------------------	----	-----

事業名	やまがた山水百景魅力アップ事業		
事業費	1,145 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

平成28年度に県民や市町村の推薦を得ながら選定した「やまがた百名山」について、その認知度向上のためにPRする広報資料を作成し、広く配布するもの。

2 事業概要

- ・ これまで、やまがた百名山全座を知るための広報資料がなかったことから、全座を網羅する「やまがた百名山」探訪マップ(見開きB1判サイズのポスター型を折りんでB5判仕上げ)を18,000部作成。
- ・ 作成した「やまがた百名山」探訪マップは県庁や総合支庁、市町村役場や道の駅、スポーツ店などで広く配布したほか、「やまがた百名山」巡回写真展や環境展等のイベント等でも活用した。
- ・ 探訪マップには「やまがた百名山」の県全体における位置、所在地や標高、登山難易度を示すグレーディング情報等を掲載し、知らない人に「やまがた百名山」を知って貰うことを主目的に作成した。このマップで百名山に興味を持って貰い、より詳しい情報は県山岳情報ポータルサイト「やまがた山」や、昨年4月に民間出版社から発売されたガイドブックから入手するような役割分担とした。
- ・ 山と森林は密接な関わりがあることから、探訪マップの裏面にやまがた緑環境税の仕組みや用途について紹介するスペースを取り、その普及啓発も併せておこなった。

3 成果と課題

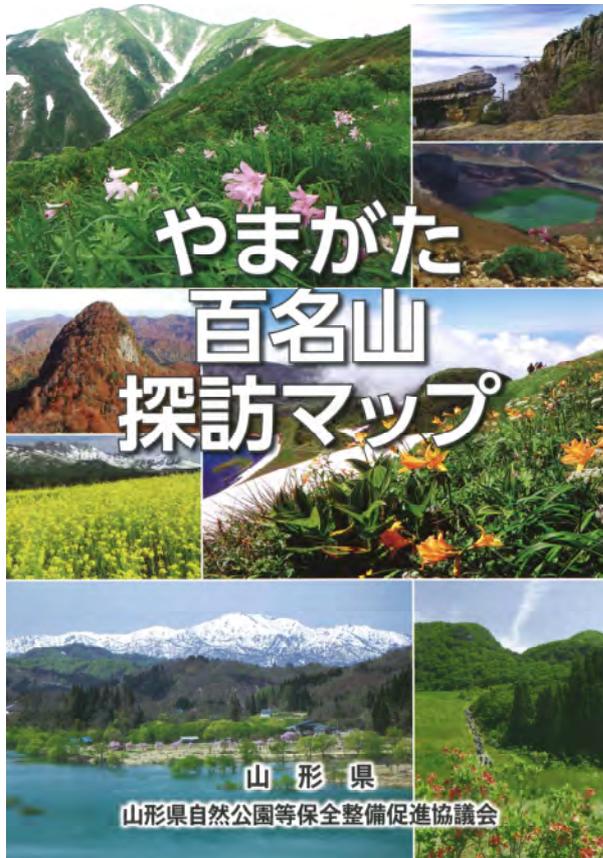
【成果】

- ・ 新聞やラジオ等で報道されたこともあり、配布直後から問合せが殺到するなど、非常に好評であった。総合支庁、市町村役場、空港などでは当初配布分がすぐに底を尽き、追加で求められる状況であった。
- ・ また、県内だけでなく隣県や本県出身者などからの電話での問い合わせも数多くあり、その中には来県が困難なため、郵送での発送を求める声も多かった。
- ・ 数多くの方の手に届いたことから、やまがた百名山だけでなく、やまがた緑環境税についても充分PRできたものと思慮される。

【課題・対応】

- ・ 前述のとおり、非常に好評であったため、今年度作成分18,000部については概ね配布済みであり、在庫が僅少(2/18時点で305部)となっている。一方、「やまがた百名山」については全県民から認知されたとは言えない状況であることから、来年度も引き続き探訪マップを作成し配布することで、その認知度の向上を図っていく。

やまがた緑環境税を活用した取組み
【平成30年度やまがた山水百景魅力アップ事業取組事例】



(表面)



(裏面：やまがた緑環境税のPR)



配布イメージ（県庁7階での例）